

大山診療所で看板上掲式

今年度からの新たな取り組みとして進められている「鳥取大学家庭医療教育ステーション」の看板上掲式が、4月25日に大山診療所で行われ、関係者が集まり完成を祝いました。

これに続き、実際の研修施設となる大山診療所や、学生の宿泊施設として改修された旧診療棟の内覧が行われ、本格稼働の体制が整いました。今後は安定した医療サービスの提供や健康増進の啓発、そして地域医療の発展と人材育成に取り組んでいきます。



▲テープカット



▲渡り初め



▲大山診療所看板上掲式

駅舎のデザイン決定！入賞チームを表彰

老朽化に伴い、建て替えられることになっているJR大山口駅。駅舎のデザインを米子高専建築学科の学生に依頼していました。

これは米子高専との連携事業の一環で、デザインは6チームから6作品の提案がありました。3月の審査会で、最優秀賞、優秀賞を決定し、5月7日に表彰式を行いました。

採用されたデザインは木材をふんだんに使い、木の温もりが身近に感じられる山小屋風の外観となっています。新駅舎は年内の完成を目指しています。



▲表彰式

坊領東橋が完成！ 渡り初めで祝う

4月27日に、坊領地区と豊房地区を結ぶ町道坊領向原線坊領東橋が完成し、関係者及び来賓によるテープカットのあと、宮内集落にお住まいの谷本岩一さん御家族による3世代渡り初めで竣工を祝いました。

この路線は、平成23年9月の台風12号の影響で、阿弥陀川が増水し橋梁が流失したため、平成24年度から約7年の歳月を費やし、橋長133メートル、幅員5メートルの永久橋として架け替えを行いました。

被災前は、阿弥陀川の計画高水位よりも低い高さに位置する潜水橋で、幅員も約2.7メートルで車両のすれ違いも困難な橋でしたが、開通により、地域の利便性向上と併せ、観光や農業など経済活動の一層の発展が期待されます。